

開催月日 : 令和7年 9月26日(金) 14:00～15:00

第1回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 議事録

司会	珍田 汐花	書記	珍田 汐花
2025年度 第1回介護医療連携推進会議について			
1. 開会の挨拶及び出席者の自己紹介			
御多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。2025年度第1回介護医療連携推進会議を現地とZOOM(オンライン)にて開催致します。皆様、宜しくお願い致します。			
ご出席者の皆様から一言ずつ自己紹介をしていただく。出席者は以下のとおり。			
<出席者>			
芝地区高齢者相談センター 1名			
ケアプランセンター みつつの木 2名			
グッドライフケア港 福田 美樹(介護支援専門員)			
グッドライフケア24 佐藤 洋子(介護士)			
グッドライフケア24 珍田 汐花(管理者)			
2. 運営状況報告			
別紙のとおり2025年3月から現在までの運営状況報告を行う。			
現時点で2名の方がサービスを利用されている。			
男女の比率は1:1で、70代、90代の方。			
要介護2の方が1名と要介護5の方が1名。			
地域別では麻布地区と芝浦地区となっている。			
コール件数はなし。			
要介護度別の定期訪問回数について。			
稼働件数はこれまで利用がなかったが、6月に新規1件、9月に1件あった。			
3. 新規利用者様のご紹介			
管理者より2025年3月から現在までの運営状況報告を行う。			
別紙資料を参照とする。			
4. ご意見・ご感想・講評など			
意見①: 定期巡回を広げたいがなかなか利用者が増えない。どのように進めていけばいいか。			
回答①: 認知症で拒否のある方、随時の対応が必要な方、1日複数回訪問が必要な方にあっているサービスだと考えております。			
頻回に巡回をすることで生活リズムも整うため、定期巡回にあっていそうな方がいらっしゃったら、一度ご提案させていただければと思います。			
意見②: 要介護度によって1日何回までなどの縛りはありますか？			

回答②: 介護度が高いから多い、低いから少ないということではなく、その方に合わせてになります。

ただ、長時間の滞在はできないため、短時間で複数回というのが基本となります。

要介護度の高い方は20-30分の排泄介助で1日複数回、介護度の低い方は服薬確認や室温調整で1回10-15分で1日複数回訪問することが多いです。

感想①: 現在思い浮かぶ方がいるので、必要になったらご紹介できればと思います。

身寄りのない方や独居で暮らしている方が大勢いるので、定期巡回型訪問介護サービスは非常に役に立つと思う。

感想②: 柔軟に対応ができるサービスなので、どんどん広がればいいと思います。

感想③: ケアマネージャーが立てたプラン以外に、計画作成責任者の方がその方に合わせてプランを変更することができるので、退院直後や状態が安定しない方などに適したサービスだと思います。

5. 閉会挨拶

以上を持ちまして第1回介護医療連携推進会議を閉会と致します。

御多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

次回の会議は令和8年の3月を予定しています。

開催方法、開催日時は構成委員の皆さまには改めてご連絡致します。